

# 新緑美しく、

## きらびやかに「御幸」みゆき

5月24日、大山寺で「御幸」が行われました。御幸は平安時代から大山寺に伝わる伝統行事です。

博労座で大山寺僧侶らが法要と東日本大震災による犠牲者を慰霊、被災地の復興祈念を行った後、法灯や僧兵、猿田彦、鉄砲持ちたちの先導で、御輿が大山寺参道を練り歩きました。烏帽子に白装束の男衆らが御輿を担ぎ、本堂を目

指して急な石段を上がりました。

この日、さわやかに晴れわたった大山を背景に、きらびやかな衣装をまとつての華やかな時代絵巻を見ようと参道には大勢の見物客が集まりました。

御輿の担ぎ手不足などの理由から、次回の「御幸」は3年後となります。



▲大勢の見物客が見守る中、時代行列は進んでいきます

# 祝百歳

## おめでとう ございます



▶賞状を手にする藤井くまこさん(中央)

下市の藤井くまこさんが5月18日に満百歳の誕生日を迎えられました。

藤井さんは、現在でも家の周りの草取りや、家庭菜園で育てている野菜の生育を見るのを楽しみにしておられるそうです。

これからもますますお元気で家族のみなさんと毎日を楽しみにお過ごしください。

みんなで協力して  
咲かせます

# 人権の花運動

大山小学校

5月11日に大山小学校で人権の花贈呈式を行いました。

「人権の花運動」は、昭和59年から、法務省と全国人権擁護委員協議会が全国的に取り組んでいる啓発活動で、主に小学校を対象とした運動です。子どもたちが協力して花の世話をすることにより、豊かな情操を育てると共に、命の大切さを学んだり、思いやりの心を育てることを目的にしています。

贈呈式には法務局米子支局長、米子人権擁護委員協議会長、町内の人権擁護委員などが列席し、サルビアやマリーゴールドなどの花の苗が贈られました。「KENまもる



◀贈呈式の様子

君」も登場し、贈呈式は大いに盛り上がりました。代表児童からはお礼とともに「大切に育てます」と決意表明がありました。

今年度は、米子人権啓発活動地域ネットワーク協議会からの指定を受け、町内4つの小学校でこの運動に取り組みます。各小学校にきれいな花がいっぱい咲き誇ることを目指します。